

洋書輸入協会会報

VOL. 18
NO. 2

(通巻202号) 昭和59年2月

新年懇親会

晴れてはいるが、かなり底冷えのする今年の正月。9日の月旺も夕刻は早く帷をおろして、東京タワーの鉄骨の縁取りの灯が、下から上へゆるいアーチを画いて、くっきりと冬の空に浮び上っている。

この塔の麓の東京プリンス・ホテルを新年懇親の集いの場として、既に幾年かを数えた。78社219名の出席者が一堂に会して新しい年の始めの挨拶をするのは、とても廻り切れない個々の取引先を訪ねる時間を節約してくれるというだけではない。同時に数社の人々が話題を豊富に、サークルの会話を盛り上げて、楽しい結構な催しである。文化厚生委員会年中最大のヒット企画であろう。

数年前はテーブルに並ぶエッセンが不足して、いささか不評を買ったこともあったが、最近はこの量も充実して、皆さんのお顔にもこやかである。会費の値上りは、この時勢、やむを得まいと、余りきつい追求がない。

理事長丸善会長飯泉新吾氏のご挨拶で、洋書に生きる一同を激励して下さい。会場の入口で、水割りやジュースが渡されているが、改めて最年長の国際書房会長服部正喬氏の音頭で乾杯をする。大正10年(1921年)洋書界

入りの90歳の御長老、背筋をぴんと伸して、我々のような骨の軟らかい後輩の前で盃を上げられた。張りのある声は、質の良いマイクで増幅されて凜として響き渡る。

やや腹ごしらえあつての後、先ずは顔見知りの同志から、今年もよろしくとの交流のスタート。平生火花を散らす好敵手も、お手軟らかにと紳士的。小生も洋書界で30年、馴染みの方がたも多いが、若い新しい人が随分増えているとの実感を持つ。男が多い会合であるので、女性の出席者は大いにもてる。ゆっくりとテーブルを回ると、お互いの組合わせも変化して話題も或るいは公私、或るいは上下。高尚な文化論のあと、低次元にも簡単に移り語る。何れが引き出し役かは、さて措いて、おめたいお正月の話題は二重、三重と積み重なっていく。

やがて宴も終わりに近づく頃、文化厚生の前委員長・洋販の渡辺正廣社長が、今年が洋書業界にとって良い年でありますようにと挨拶、締めを紀伊國屋の相良廣明氏にお願いする。「今年は前半ドル230円、後半は225円。但し外れても責任を負わない」とのご託宣のあと、三三七の爽やかな手拍子が、この日の盛会を締め括った。

(洋販・栗原光輝記)

新年懇親会……………1	会員紹介……………3	来日外人名簿……………6
文化厚生委員会だより	八木佐吉氏を悼む……………4	海外ニュース……………7
72会 納会……………2	おしらせ……………4	総代理店ご案内……………7
関西支部ゴルフだより……………3	外国出版社紹介 No.100……………5	広告……………8
おしらせ……………3	Book Review No.96……………6	



文化厚生委員会日より

72会 納会

最近のゴルフコンペは二者択一をせまられています。即ち(1)土、日にやれば人は集まるが、遠くて費用がかかる、コースも混んでいる。(2)平日にやれば近いところで安上がり、コースもすいている。だが人は集まらない。今後共むづかしい問題であるが、今回の72会は(2)を選び、12月21日(木)東京五日市 CC (八王子) で開催した。年末の忙しい時期であったが、それでも19人の参加者があった。交通の便が良いせいか、スタート30分前には全員集合し幹事は一安心、お天気も上々。前日までの厳しい寒さも朝の内だけで、10時頃には風もない小春日和となっ

た。'83打ちおさめということで各選手大いにハッスルしたが、コースを熟知していた川原氏が優勝した。但しいくらコースが狭いとはいえ、ドライバーをクリークに替えて打っていたことについては、若干の(かなりの)批判もあったようである。準優勝には最近進況著しい金子氏が入賞した。

おもしろいことに、この日上位8人までが、いずれもこのコースをよく知っている人達で占められたことで、やはり初めての人にはむづかしいコースなのかもしれない。その中であって新会長の相良さんが9位に食い込んだのはさすがであった。

ベストグロス、ドラコン、ニヤビンの特別賞を、いわゆる“土地勘のある三悪人”で全部取ったのも念が入っていた。紅2点参加の園山さん、北村さんはコースのむづかしさもあって、奮闘むなしくそれぞれ B.B、B.M、となった。進行がスムーズだったこともあって、賑やかなパーティも4時半には三、三、七拍子の手締めでお開きとなり、楽しい納会であった。

尚、会長の相良さん、優勝の川原さん、ゴールデンブックスの園山さんから多額のご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

			Net	H'dcp
優	勝	川原孝人(ADA)	73	14
準	優	勝 金子英夫(オリオン)	74	18
3	位	青田浩次(日出賀)	74	24
4	位	片倉弘人(カタクラ)	80	20
5	位	上杉勝良(UPS)	82	16

ベストグロス 川原孝人(87)

D.C. 市川 温(ハーコート)(西、南)

N.P. 川原孝人(西)、上杉勝良(南)

(上杉勝良記)



関西支部ゴルフだより

第14回関西支部長杯争奪の懇親コンペが、11月26日(土)宝塚高原 G.C.で開催されました。参加者12名。冬には早いこの時期なのに、強風と、ときおり霰まで交えての悪コンディションの中、またもやニューフェイスの優勝者が飛び出しました。これで今年は3人目のニューチャンピオンが誕生した訳で、関西支部のメンバーの層も厚くなり、来年の東西対抗連勝の夢がふくらむばかりです。

	Net	H'dcp	
優勝 大年 隆(栄出版)	79	36	(年齢順)
2位 谷口定三(厚生社)	79	25	
3位 森 吉彦(洛陽書店)	82	18	
ドラコン賞 } 正木憲悟(緑書房)			
ニアピン賞			

(12/'83 関西支部 hm 生)

お知らせ

1984年ロンドン・ブックフェア

1984年のロンドンブックフェアが520社の参加を得て下記のとおり開催されます。

日 時 1984年 4月10—13日

場 所 バービカン・センター、ロンドン

参加費 1日2ポンド (160ページの出品者カタログ代) 今、申し込むと、次の特典があります。

1. 3ポンドで期間中の入場バッチと160ページの出品者カタログが1ヵ月前に送付される。
2. 希望により、氏名を業界紙に掲載し、展示参加者との連絡の便宜をはかる。
3. 商談のための接客室を20ポンドで申し受ける。この接客室には喫茶、バー、インフォメーション、事務のサービスがある。
4. 指定業者により、希望のホテルを最大限33%の割引きで予約出来る。
5. ロイヤル・シェイクスピア公演にはブックフェア開催中、バッチの提示により2ポンドの割引きが受けられる。
6. ルートによっては最大限33%の国鉄の割引が得られる。

くわしい資料は英国大使館文化部 (プリティッシュカウンシル) (東京都千代田区神田神保町2-1 岩波神保町ビル8階 Tel: 264-3721) に御請求ください。

会員紹介

日経マグローヒル販売株式会社

〒101 東京都千代田区神田小川町1-1
電話(03)233-8095

日経マグローヒル販売(株)は、日経マグローヒル社の全額出資で設立され、日経マグローヒル社とMcGraw-Hill Publications Co. の発行する雑誌を販売している。親会社の日経マグローヒル社は、1969年に日本経済新聞社とMcGraw-Hill Publications Co.が共同出資で設立した技術情報の出版社であり、日経ビジネス、日経エレクトロニクスなど7雑誌の他にニューズレター(2)、情報ファイル(4)など13種類を発行している。同社は、日経マグローヒル社発行の出版物の販売を一手に取り扱うと同時に、親会社であるMcGraw-Hill Publications Co.発行の雑誌も取り扱い、日本読者向け

のサービス向上に努めている。

1980年にコンピュータ総合月刊誌「BYTE」、1982年10月からビジネス週刊誌「Business Week」、1983年1月からは、BYTEの姉妹誌であるマイコン月刊誌「Popular Computing」、この3誌に加えて、コンピュータ情報ファイル「DATAPRO」シリーズの日本総代理店の権利も獲得している。

上述の如く日本総代理店としての実績はまだ日は浅いが、今後とも、McGraw-Hill Publications Co.発行の諸雑誌を中心に多角的な読者サービスを提供していきたいとのことである。

八木佐吉氏を悼む

会報委員会

洋書輸入協会会報に、いつも御寄稿を頂いていた八木佐吉さんが亡くなりました。会報委員会として、八木さんへの御礼と、追悼の意味をこめて、当会報へ掲載された分のビブリオを、メクレンブルグの鈴木和夫さんが作製されたので下記に掲載する。

八木さんは、「本の図書館長」であることにふさわしく、温厚な、かつ大変な勉強家であり物識りであられた。下記のビブリオを見て頂ければ分るように、「欧文日本関係文献目録」、「洋書こぼれ話」を始めとして、我々洋書関係の仕事をしている者達にとっては、大変貴重な書誌、回顧談などを惜しみなく紹介され、更に解説を加えて頂いて、どれほど参考になったことか。

まだまだ連載を続けて頂きたかったのだが、最近はお体の具合が思わしくなく、昭和58年2月号の「中央アジア・シルクロードの洋書を遡る No.8」を最後として途絶えていた次第で、残念でならない。

八木さんのような方には、それこそ業界として文化勲章を差し上げたいと思う位であるし、コンピューター化の進行している今日では、八木さんのような方は、もう出ようにも出て来られないのではないと思われる。

洋書業界として、また会報委員会として、心から八木さんの御逝去を悼み、このビブリオを捧げたい。

(相良廣明)

会報に掲載された八木佐吉氏の著作目録

凡例 (1) 必ずしも掲載順によらず、シリーズごとにまとめました。

(2) 実務シリーズとして掲載されたもののうち、「洋書学ことはじめ」以後のものは、内容からみて、「その他」の部にいれました。

(3) 検索数字は次の通りです。

年一月/巻一号/通巻号数

洋書こぼれ話

1. 1923—1925、関東大震災後の洋書界 44—2/3—2/22
2. 1925年頃の百科辞典 44—4/3—4/24
3. 昭和初期の大物洋書 (その2) 44—5/3—5/25
4. " " (その3) 44—6/3—6/26

5. " " (その4) 44—7/3—7/27
6. 昭和初年—1930前後 44—8/3—8/28
7. " " (その2) 44—9/3—9/29
8. " " (その3) 44—11/3—11/31
9. 1940年前後のこと (その1) 44—12/3—12/32
10. " " (その2) 45—1/4—1/33
11. " " (その3) 45—2/4—2/34
12. 洋書こぼれ話「拾遺」 45—12/4—12/44
13. 明治初年の医学書 47—5/6—5/61
14. 日本にきた最初の英国人——安針町と八重洲町の由来 48—2/7—2/70
15. 明治期洋書輸入起原と丸善の創業ごろの挿話 49—12/8—12/92

実務シリーズ

1. 稀覯さと保存の説明 (西洋古書目録をみて) 45—8/4—8/40
2. 洋書学ことはじめ(I) 45—12/4—12/44
3. " (II)——洋書の Format 46—1/5—1/45
4. " (III)——洋書の各部分の名称 46—2/5—2/46
5. " (IV)——洋書業務の Technical Terms 注解 46—3/5—3/47
6. " (V)——洋書の各部分の名称(2) 46—5/5—5/49
7. " (VI)——製本のこと(1) 46—7/5—7/51
8. " (VII)——製本のこと(2) 46—8/5—8/52
9. " (VIII)——製本のこと(3) 46—9/5—9/53
10. " (IX)——製本のこと(4)、表紙材料一革 46—10/5—10/54
11. " (X)——製本のこと(5)、製本用クロースの略史 46—12/5—12/56
12. " (XI)——製本のこと(6)、クロースの種類 47—1/6—1/57
(以下次号につづく)

お知らせ

株式会社ブックス・フォア・ジャパンの代表取締役社長が、昨年12月下旬のように交代されました。

就任 相馬 澄胤氏
退任 高木志都夫氏

McGraw-Hill

Serving the Need for Knowledge

1221 Avenue of the Americas, New York, New York 10020

マグローヒル社の経営陣にとって1983年は言葉通りの新しい年になったと言えよう。それは4月26日の年次総会にスタートした新体制である。1975年以来8年間 Chairman and Chief Executive Officer (最高の実権をもつポジション)としてその実力をフルに発揮し、マグロー3世の名で親しまれた Harold W. McGraw, Jr.氏 (創立者 James H. McGraw 氏の孫) が65歳の年齢に達してから初めてのこの総会を機に、若手実力者の Joseph L. Dionne 氏、49歳、に Chief Executive Officer の座を委ねることを発表して、多大な功績に彩られた地位を退き、社の若返りを計ったことでスタートした新機軸である。マグロー氏は年齢を感じさせない eager-beaver 経営者として知られ、36年間に社のために尽された人であるが、この8年の重要ポスト在任中に驚異的な年平均17.5%という純利益増、また株価について見れば1975年の1株 $6\frac{3}{8}$ ドルから1983年には $95\frac{1}{2}$ ドルという空前の高値を実現するという敏腕家であった。

Dionne 新社長の Chief Executive Officer 就任にともない打ち出された新構想の一つとして注目に値するのは、過去約15年間独立した事業部として進展してきた International Book Company が10月より Book Company へ再編入されたことで、各出版部との密接な連携プレイにより年々グローバル化する教育、専門知識および情報サービスに対するニーズに応えるべく知識・情報産業のリーダーシップを充分果し得る体制をとったものと考えられる。因みに、Book Company の総指揮には現社長の Donald L. Fruehling 氏が、International Group 担当としてこれは若手の Edward T. Reilly, Jr. 副社長が任命され新体制が強化された。本社が New York 市 Rockefeller Center のマグロー

ヒル・ビル (50階建) にあることは衆知の通りであるが、マグローヒル社はその他米国内に約180箇所、海外に50箇所余りの拠点を構える総社員数約13,000名を擁する巨大企業で、Book Company、Publications Company、Information Systems Company ほか2情報部門、加えて Broadcasting Company の6事業部が主流となっている。1982年の売上高比をみると Book Company が全体の33%、Publications Company (雑誌) が29%、Information Systems Company (情報) が18%で、この3事業部で総売上高の80%を担っている。

米国内3箇所に Book Distribution Center をもつが、海外へのサービスは最大規模のニュージャージー州ハイツタウンにあり、コンピュータ・サービス、総務部等を兼ね備えている。1958年に38エーカーの農地に出現したこのサービス機関は、現在286エーカー (約116万平米) の風景の中に5つの建築物と1,800名の社員を擁し、実務の中心としての役割を果たすまでに成長した。昨年10月に25周年 (Silver Anniversary) を迎え、コミュニティと一体となって現在までの成長を祝い、将来へ向けての抱負を分かち合った。

「米国マグローヒルは1983年1月～9月期の売上高9億2,900万ドル、純利益8,900万ドルと前年同期比利益が16%増と2ケタの伸びを示し、社員はクリスマス休暇が1日増えて4連休を楽しんだ」(日経新聞1983年12月25日・ニューヨーク特派員報告より)。巨額な財政赤字の波にもめげず伸び続ける米国マグローヒルは、今や世界のマグローヒルとして、あたかも急速な米国景気の力強い担い手であるが如く、若手社長の積極的な新機軸という順風によって、ますます発展を続けることは間違いないようである。

(RA 記)

箕輪成男著 歴史としての出版

1983年9月 弓立社 ¥2,000

「情報としての出版」、「消費としての出版」を世に問うた箕輪氏が、引き続いて「歴史としての出版」を刊行した。我々洋書輸入に携わる者にとっては、先ず外国出版事情に関心があるが、箕輪氏の三部作ではいずれも豊富に外国事情に触れられている。特にこの第三部においては、外国と日本の対比において詳しい。私は出版文化史に対する個人的興味から読み始めたのだが、読み進むに従い、この本は我々業界の方にも随分参考になる所が多いという思いが深くなった。その意味でこの本を、批評でなく紹介という形で取り上げてみたい。

「出版における近代への離陸」の項は、英・米・独・日本において何時、どういう理由によって出版点数が飛躍的に増大したのかという考察である。これは「先進諸国の出版近代化」の項において、更に詳しく時系列的に分析されており、「出版における流通革命」の項と併せ、洋書のマーケット開発について触れられる所が大きい。

また「出版における流通革命」の項では、歴史的に見て日本の出版物の価格レベルの低下が、1927年（昭和2年）以降に起っていると指摘されている。そしてその現象の解釈（52～57ページ）が、我々にとって非常に示唆に富んでいる。この項は、「出版開発の経済学」の項と併読するとなお理解し易い。

「明治維新と出版の近代化」は、私として最も個人的関心を持つ項であるが、この問題についてこういう観点から論ぜられたことは始めてではなかろうか。私自身に多少の意見がない訳ではないが、とにかく出色の論文であり、我々出版産業に携わる者の常識として一読をおすすめしたい。

この項に繰り返し強調されていることは、取次・小

売の全国的ネットワーク、委託配本制度、再販制度などの諸制度が、内発的なものであって、外国の諸制度を取り入れたものではないという「推測」である。このことは、現在の洋書輸入の流過程が、ユーザーと業者との合作による日本独自のものであることに対応するし、またそれだけにその改善方向の立脚点が、双方の内発的なものでなければならないということにもなり得よう。

「学術出版の系譜」、「大学教科書の出版史」などの一連の論文は、学術出版物を取り扱うことの多い我々の業界人にとって、知識を整理するために何よりの参考となる。

「日本における外国語出版」の項は、外国情報のインプットだけに集中している日本人の歴史的努力が、我々業界の存在根拠となっていることを如実に示している。我々は、洋書輸入だけではなく、日本における外国語出版物の出版を促進し、それを輸出することによってバランスを取ることも、我々の歴史的な存在を確かにする方法であり、かつ義務であろうと考えさせられる。

「コピーと学術出版」は、コピー問題が深刻な事態となっている洋書の業界にとっても、タイムリーな論文である。関係者はその論拠を知っておく必要がある。

「西アフリカ、東南アジア出版の旅」は、大変面白い。今すぐでなく、洋書輸入の将来の問題として関心をひく。

以上、どの項を取り上げても興味が深く、結論としてよりも試論としての示唆に富んでいるので、読書会のテキストとして最適であると思い紹介した次第である。
(相良廣明)

来日外人名簿

12月 Dr. Hans Koegeler, Managing Director
Dr. jur. Michael E. Struzl, Akademische

Druck und Verlagsanstalt, Graz
1月中旬 Mr. Jean Hirschen, Director
Mr. Emmanuel Clerc, Sales Manager,
Office du Livre S.A., Fribourg

- " Mr. John S. McNeil, Secretary Treasurer,
Chief Executive Officer, Annual Reviews,
Inc., Palo Alto
- 1 月下旬 Ms. Ann Wearin, Director of International
Sales, Simon & Schuster, Inc., New York

海外ニュース

「米国大手出版社の売上高」

Harper、Wiley、Plenum 及び Macmillan の 4 社は、昨年 9 月乃至 10 月までの 4 半期において、売上高、利益とも大幅な増加を記録した。その数字を順に紹介すると、Harper—売上高 54,825 千ドル（前年比 10.9% 増）、利益 2,732 千ドル（前年比 62.0% 増）、Wiley—売上高 40,129 千ドル（前年比 7.1% 増）、利益 1,570 千ドル（前年比 225.7% 増）、Plenum—売上高 25,164 千ドル（前年比 13.7% 増）、利益 4,714 千ドル（前年比 30.8% 増）、Macmillan—売上高 142,500 千ドル（前年比 18% 増）、利益 27,500 千ドル（前年比 24% 増）となっている。

（Publishers Weekly、1 月 13 日号より）

—— 紀伊屋書店提供 ——

総代理店ご案内

- ㈱ 紀伊屋書店 ☎(03)354-0131
- Oxford Microform Publications Ltd. All Publications
Industrial Tribunal Reports 1966~1978. 13 Vols.
Reprint 1983 (Professional Books)
.....セット予定価 ¥159,680
- Industrial Case Reports 1979~1982. 4 Vols. Reprint
1984 (Professional Books) ..セット予定価 ¥76,800
- Value Added Tax Tribunal Reports 1973~1982.
10 Vols. Reprint 1983: 12 (Professional Books)
.....セット予定価 ¥80,000
- McGraw-Hill Encyclopedia of World Drama. 2nd ed.
5 Vols. 1983: 12 (McGraw-Hill) セット予定価 ¥94,400

- 丸 善㈱ ☎(03)272-7211
- National Academy Press. Created by National
Academy of Sciences, USA. All Books & Reports
Dictionary of Organometallic Compounds, 3 Vols.

- (Chapman & Hall, GBR)ca. ¥247,500
- Indian Opinion 1903-1914 (Published by N. Trust and
Founded by M. Gandhi in 1919) 11 Vols & Index
Vol. (New Order Book Co., IND)¥360,000
- Kunen, K. & J. Vaughan (eds.)—Handbook of Set-
Theoretic Topology (North-Holland, NLD)
.....ca. ¥33,000
- The New Oxford Companion to Music. by D. Arnold.
2 Vols. (Oxford U.P., GBR) ..Until 15/4/84 ¥22,000
Thereafter 25,000
- Stearn, W.T.—Botanical Latin: History, grammar,
syntax, terminology & vocabulary. 3rd rev. ed.
(David & Charles, GBR)¥7,800

- ㈱ 西村書店 ☎(0252)23-2388
- Medvei, V.C.—A History of Endocrinology, 1982
(MTP)¥31,460
- Hafez & Kennemans.—Atlas of Human Reproduction,
1983 (MTP).....¥24,000
- Osborn.—Dental Anatomy and Embryology
(Companion to Dental Studies, Vol.1, Book2), 1982
(Blackwell)¥7,560
- Osborn.—Anatomy, Biochemistry and Physiology
(Companion to Dental Studies, Vol.1, Book1),
1982 (Blackwell)¥12,800
- Mayer.—Cerebral Vascular Disease 4, 1983
(Excerpta Medica)¥25,200
- King & Custance.—Colour Atlas of Vertebrate
Anatomy (Biology Series, No.1), 1983
(Blackwell—Gower)¥7,560
- Mouwén.—A Colour Atlas of Veterinary Pathology,
1983 (Wolfe—Bunge)¥19,200
- Harada.—Atlas of the Ear by S.E.M, 1983
(MTP/NISHIMURA)¥14,970
- Ashdown.—The Ruminants (Colour Atlas of Veteri-
nary Anatomy, Vol.1), 1984
(Baillière Tindall—Gower).....¥25,200

- 太陽洋書㈱ ☎(03)866-9897
- Agricultural Chemical News (Monthly)
1984 subscription price,airmail only ¥30,000
(Thomson Publications, USA)

是非一度お試しください!!

弊社は洋書の業務以外に、凸版印刷の高度な印刷技術や、弊社の小廻りのきく立場を活用し、あらゆる印刷の御注文を承っております。

- (1) 顧客への編集、割付のアドバイス及び印刷全般にわたるノーハウの御相談にのります。
- (2) 少部数の印刷物もお引受けします。

◎取扱品目：

リーフレット、カタログ、復刻版、カラーの高級アートブック。
コンピュータ組版による印刷物、その他各種印刷物。

◎既に下記の輸入同業社の方々の御愛顧をいただいております。(ABC順)

- (1)中央洋書(株)
- (2)富士洋書(株)
- (3)エルゼビア・サイエンス・パブリッシャーズ・サービス社
- (4)白鷗洋書(株)
- (5)(株)ホルト・サウンダース・ジャパン
- (6)ナウカ(株)
- (7)O E C D(経済協力開発機構)東京広報センター
- (8)(株)リージェンツ出版社
- (9)ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社
- (10)(株)有隣堂
- (11)(株)雄松堂出版

御用命あれば直ちにお伺いいたしますので下記に御連絡ください。

(株)トッパン

千代田区神田駿河台1-6 主婦の友ビル2階

T E L. (295)3461(代)

印刷担当者 鎌形

瀬田川

佐藤

昭和59年2月 通巻第202号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫

☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル603号室 ☎ 271-6901

☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎ 371-5329